



やまがた 伝説 DENSETSU

蔵王は、古くは修験の山。 温泉は1,900年の 歴史があります!



「樹氷」は、昔、別の名前だった?

蔵王は年間約20万人が訪れる四季のリゾート地です。中でも冬に海外からの観光客にも人気の樹氷は、大正時代になってから全国に知られるようになりました。それ以前は、地元では「雪の坊」と呼ばれていたそうです。12月から3月は、ライトアップされた幻想的な風景を楽しめます。

日本百名山の1つである蔵王。武士がいたようなはるか昔、山伏などが山で厳しい修行を行う「修験道」というものが盛んになりました。その後、修験道の中心となる神仏、「蔵王権現」がまつられたことから「蔵王」と呼ばれるようになったと言われています。



家族で紅葉狩りなどを「楽しむ蔵王」。何で「蔵王」と呼ぶの?



蔵王温泉のはじまりは、「日本書紀」や「古事記」の時代と言われているよ。

長い歴史のある温泉は、「酸川温泉」、その後「最上高湯」と名を変え、福島の高湯温泉、米沢の白布温泉とともに奥羽三高湯と呼ばれました。昭和25年、観光地百選山岳の部で1位となったことをきっかけに、「蔵王温泉」となりました。なんと、47もの源泉が豊富に湧き出しているのです。



世界に誇れる名山・名湯の蔵王をもっとPRしていきまわ。

蔵王についてお話をお聞きした
伊藤 八右衛門さん
蔵王温泉観光協会 会長

蔵王は四季折々、一年を通して楽しめます。海外からの観光客にも人気が高い「美食・美酒県やまがた」を代表する観光地として、心のこもったおもてなし心がけています。

